



「富士市自転車活用推進計画（案）」のパブリック・コメントに対する意見及び回答

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5 区分

No.	ページ	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	45	富士市には、富士山、富士川と素晴らしいサイクリングに適した環境があるが拠点となる宿泊施設がないため、検討してもらいたい。	<p>本市において、サイクルツーリズムを推進していくためには、サイクリストや観光客を市内に引き込み、長く滞在したいと思わせる仕組み作りや良好なサービスを提供する宿泊施設や商業施設等の充実が必要だと考えております。</p> <p>そのため、本計画（案）では、「サイクリストが快適に過ごすための環境の構築」を施策としており、自転車の室内持込可能施設やバイシクルピットを設置する施設の充実を図っていくこととしています。</p> <p>今後は、宿泊業者や飲食店などと連携し、サイクリストのニーズにあった施設やサービスの充実を図って参ります。</p>	既に盛り込み済み
2	—	富士山登山ルート3776を自転車で挑戦する人もいるため、5合目に自転車を安全に預かれる施設や登山靴などの登山に必要な道具を事前に発送して受け取れる施設の設置を望む。	<p>「富士山登山ルート3776」は、富士市が設定した海拔0メートルから富士山頂（標高3776メートル）を目指す全長約42kmの新たな登山ルートです。ルート設計については、古くから海岸で安全祈願をし、富士山に登山をしたという、歴史に基づき徒歩での登山を想定して山道を含むルートを作成しております。</p> <p>富士山への登山ルートはサイクリングにおいても魅力的なルートであるため、一般道路を使用した登山ルートもサイクルツーリズムのコンテンツの一つとして期待をしているところであります。</p> <p>富士山5合目の施設については、富士宮市に立地しております。本計画（案）のサイクルツーリズム推進では、近隣市町や関係機関と連携し、観光振興を図ることとしておりますので、いただいたご意見は、今後の事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの

3	43、46	<p>サイクルツーリズムについて、自転車で旅行をしている人の意見を参考に1日の場合や2日間の場合のプランなど、どのような自転車旅行をすると楽しめるのかを考えて策定をお願いしたい。</p>	<p>本市において、サイクルツーリズムを推進していくためには、世界遺産である富士山や駿河湾、富士川などの魅力的な自然の景観を最大限活かしたサイクリングコースの充実やG Iに指定された田子の浦しらすなどの地域特有の特産品を活かしたポイントの充実、自転車と連携したアクティビティの充実、サイクリストの受入環境（サイクリストに対応した宿泊施設・飲食店・観光施設）の向上、サイクルツーリズムの情報発信などが重要だと考えております。</p> <p>そのため、本計画（案）では、サイクリストや観光コンベンション、民間事業者等と連携し、サイクルツーリズムに関する施策を行っていくこととしております。</p> <p>今後は、サイクリストや観光客目線のサイクルツーリズムに関する各事業に取り組んで参ります。</p>	既に盛り込み済み
4	41	<p>近隣市町と連携したサイクリングコースの検討について、ポイントだけではなく、走りやすい道路や景観の良さなどが重要だと考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、近隣市町と連携したサイクリングコースの検討については、観光資源や眺望スポットなどの近くを通る道路、景観が良好な道路、自転車の走行環境が良好な道路（自動車の通行が少ない、大型車両の通行が少ない、道路幅が十分にある等）、駅などの交通結節点からのアクセスが良好な道路などを考慮して設定することが重要だと考えております。</p> <p>本計画（案）では、それらを踏まえ事業を実施することを想定しておりますので、今後は、サイクルツーリズムの活性化に繋がるよう、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの
5	54	<p>青葉通りは歩道や自転車道の整備がされているが、旧東海道は生活の上で重要な幹線であるが、歩道や自転車道の整備がされていない。 東西2本の幹線整備は重要だと考える。</p>	<p>本市では、平成23年に「富士市自転車利用総合計画」を策定し、その計画に基づいて富士駅から吉原中央駅までの臨港富士線（青葉通り）、国道139号線、県道鷹岡富士停車場線の走行空間の整備をいたしました。</p> <p>本計画（案）では、「富士市自転車利用総合計画」の理念を継承しつつ、日常生活や観光、サイクリングに利用できる自転車走行空間の整備計画の策定を施策に盛り込んでおります。整備計画の策定に当たっては、本市の都市づくりの方針や利用ニーズの高い路線、地域拠点及び交通結節点や観光資源を繋ぐ路線、自転車が走行しやすい路線などを考慮して策定して参ります。いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの

6	53~55	<p>自転車と徒歩で生活をしています。自転車を推進する前に、道路と駐輪場の整備をしてほしい。</p> <p>吉原地区は、道幅が狭く、普通に走るのも難しい。また、どの店に行っても駐輪場が狭いか無いかのどちらかのため大変難儀している。また、どの学校の駐輪場もあまりに狭い。</p>	<p>本計画(案)では、計画の目標の一つに「安全・安心に自転車を利用できる環境づくり」を掲げており、その目標を達成するための方針を「安全で快適な自転車走行環境の構築」、「安全で快適な駐輪環境の確保」などとしております。</p> <p>「安全で快適な自転車走行環境の構築」では、自転車走行空間ネットワーク計画を策定し、その計画で定めた道路の自転車走行空間を計画的に整備することとしております。また、「安全で快適な駐輪環境の確保」では、需要に応じた駐輪環境を確保していくこととしております。</p> <p>ご意見いただいた商店街や店舗の駐輪場が少ない現状は、把握しておりますので、今後は駐輪場の設置や拡充についても併せて検討して参りたいと考えております。しかしながら、学校につきましては、一部の学校を除き、徒歩による通学を想定して施設を作っているため、駐輪場の拡充については、現状では考えておりませんので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>	今後の参考にするもの
7	53、54	<p>懸念ですが、道路の整備をせずに推進すれば歩行者対自転車、または車対自転車の事故が増えると予想される。歩行者の安全を確保する道路の整備を前提にして推進事業を行ってほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、自転車の利用者が増加した場合、自転車が絡む事故が増加することが想定されます。このため、本計画(案)では、自転車走行空間ネットワーク計画を策定し、その計画で定めた道路の自転車走行空間を整備することとしており、それ以外の道路についても、歩行者の安全を念頭に全ての方がより安全に利用できる道路空間となるよう取り組んで参ります。</p> <p>また、本計画(案)では、幅広い世代に対する安全教育の実施や交通ルールの周知啓発を行うことも盛り込んでおりますので、自転車の交通ルール遵守やマナー向上が図られるよう、併せて取り組んで参ります。</p>	既に盛り込み済み

8	49、50	<p>市内では、高校生や大人の自転車運転での信号無視や逆走等が目立ち、迷惑している。自転車の活用を促進するよりも、まずは自転車に乗る人の交通ルールの厳守を促進するようにしてもらいたい。現状の自動車運転の交通ルール無視の状況では、交通事故が増えるだけ。</p>	<p>自転車の交通ルールやマナー違反については、市民アンケートや交通事故発生状況などから、事故の減少に向けては課題があることを把握しております。そのため、本計画（案）では、計画の目標の一つである「安全・安心に自転車を利用できる環境づくり」の方針として「市民の交通安全意識の向上と自転車の安全性の確保」を掲げており、幅広い世代に対しての安全教育の実施や交通ルールの周知啓発を行うことを盛り込んでおります。</p> <p>今後は、自転車の交通ルール遵守やマナー向上が図られるよう、計画に基づき事業の実施に努めて参ります。</p>	既に盛り込み済み
9	34	<p>市内でプロによる自転車レースを開催するようだが、レースを開催すれば更に自転車運転での事故が増大する恐れがある。まずは、現状の自転車運転の交通ルール無視等を是正してからにってもらいたい。</p>	<p>本計画（案）では、計画の目標の一つである「安全・安心に自転車を利用できる環境づくり」の方針として「市民の交通安全意識の向上と自転車の安全性の確保」を掲げており、幅広い世代に対しての安全教育の実施や交通ルールの周知啓発を行うことを盛り込んでおります。</p> <p>自転車レースについては、本市に拠点を置く地域密着型プロサイクリングチーム「レバンテフジ静岡」を最大限活用し、本市の魅力を高め、市の知名度の向上と活性に繋がる事業であると考えております。</p> <p>自転車レースの開催については、限られた区間や自動車の交通量が少ない道路等で開催することを想定しておりますが、開催にあたっては、警察等と協議を十分に重ね、交通規制や事故防止などの安全確保を徹底し、実施して参ります。</p> <p>また、大会の期間中や開催後も継続的に自転車交通ルールやマナー啓発を行い、交通ルール遵守やマナー向上に努めて参ります。</p>	今後の参考にするもの

10	53、54	<p>＜施策6-1＞自転車走行空間の計画的な整備「25 自転車走行空間ネットワーク計画の策定」に関する意見。道路にある青い矢印マークの間隔は、決められているのか。富士市内のマークの間隔は、静岡市清水区（清水警察署前の道路）と比べて、間隔が開きすぎて、少しわかりづらい。ペイントの間隔をもう少し狭めて、自転車道らしく整備して欲しい。</p>	<p>道路にある青い矢印マークは、矢羽根型路面表示といい、現在、富士市内の道路にある矢羽根型路面表示については、ナショナルサイクルルートの「太平洋岸自転車道」の整備として、国及び県の基準に基づいて整備を行ったものになります。矢羽根型路面表示の設置の間隔等は、法令等で定められておりませんが、「太平洋岸自転車道」については、本市を含め静岡県内すべてが同じ基準で整備をしております。</p> <p>ご意見でいただいた静岡市清水区の道路につきましては、静岡市が「静岡市自転車走行空間ネットワーク整備計画」に基づいて整備を行ったものであります。本市においても今後、自転車走行空間ネットワーク計画を策定し、その計画に基づいた整備を行っていく予定でありますので、いただいたご意見を参考に自転車利用者にわかりやすい自転車走行空間の整備を行って参ります。</p>	今後の参考にするもの
11	53、54	<p>＜施策6-1＞自転車走行空間の計画的な整備「25 自転車走行空間ネットワーク計画の策定」に関する意見。歩道外側と道路の段差について、道路の水はけを考慮した境目だと思われるが、自転車が走る場所に縦の段差があるとタイヤを取られて危険なため、歩道外側の段差を解消するようにしてほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、歩道外側にあるL型側溝は、道路の排水のために設置しているものとなります。L型側溝とアスファルトの境目の段差や排水の為のグレーチング（鉄製の側溝の蓋）等については、自転車の走行に適していないことは認識をしております。</p> <p>道路製品には、側溝表面の道路露出部分を極力狭くした、いわゆる「自転車に優しい側溝」の普及も進んでいることから、今後、本市で策定する自転車走行空間ネットワーク計画や計画に基づく整備を行う際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの
12	53、54	<p>＜施策6-1＞自転車走行空間の計画的な整備「25 自転車走行空間ネットワーク計画の策定」に関する意見。交差点では道路と歩道に段差があるため、解消してほしい。</p>	<p>交差点での車道と歩道の段差については、車いすや高齢者の通行及び自転車の走行には段差がないことが望ましいと考えますが、視覚障害者には、歩車道境界を識別する手がかりとして、白杖や足により容易に認識ができる小さな段差が必要なため、車いすでも困難なく通行できる2cmの段差を基準に整備することを法令や例規に定められております。</p> <p>歩道や自転車歩行者道は、歩行者を優先し、整備をすることとなりますので、ご理解をいただければと思います。</p>	反映できないもの

13	47	<p>＜施策４－１＞サイクリストが快適に過ごすための環境の構築「18 公共交通と自転車の連携を促進」のカテゴリへの意見。岳南鉄道や身延線でのサイクルトレイン（自転車をそのまま乗せられる電車）を行ったかどうか。</p> <p>身延線がサイクルトレインとなれば、新富士駅から富士駅まで自分の自転車でサイクリングして、サイクルトレインで富士宮駅まで行き、世界遺産センターを見学しつつ、富士山を登るプランなどができる。</p> <p>また、バスにも自転車を乗せられるようにしたら可能性が広がる。</p>	<p>自転車の活用が進んでいる外国や国内の一部の先進都市では、自転車をそのまま積み込めるバスや電車、それから自転車も一緒に搬送できるタクシーのサービスなどがあります。</p> <p>本市においても自転車の利活用を進めるためには、自転車の利便性を向上させる取組が重要だと考えておりますので、本計画（案）では、「公共交通と自転車の連携を促進」を取組としており、交通事業者と連携を図っていくこととしております。</p> <p>サイクルトレイン等の実現には、交通事業者との調整が必要となりますので、今後の検討の際には、いただいたご意見を参考に検討して参ります。</p>	今後の参考にするもの
14	53、54	<p>自転車走行部に設置されているグレーチングが落葉によりふさがってしまい道路冠水を及ぼす事象が懸念されるため対策が必要である。</p>	<p>グレーチングが落葉によりふさがり、道路冠水を起こしてしまうことに関しては、自転車の走行部に限らず、道路を安全に走行することができなくなってしまうため、落葉などを定期的に除去するなどの維持管理を行い、全ての方がより安全に利用できる道路空間となるよう努めて参ります。</p>	その他
15	53、54	<p>自転車走行部に設置されているグレーチングに隙間が生じていると自転車のタイヤがはまり込む危険性があり事故を誘発することから対策が必要である。</p>	<p>本計画（案）では、自転車活用推進計画に基づき自転車走行空間ネットワーク計画を策定することとしています。いただいた御意見は、今後の自転車走行空間ネットワーク計画の検討の際に参考とさせていただきます。</p>	今後の参考にするもの